

エマージング・ボンド・ファンド・ カレンシー・セレクション

米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ
豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

交付運用報告書

作成対象期間 第11期
(2019年8月1日～2020年7月31日)

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<https://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

管理会社

**ルクセンブルク三菱UFJ
インベスターサービス銀行S.A.**

代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、エマージング・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション(以下「ファンド」といいます。)のサブ・ファンドである米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオおよび豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ(以下、個別にまたは総称して「サブ・ファンド」といいます。)は、このたび、第11期の決算を行いました。

サブ・ファンドの投資目的は、ケイマン諸島のユニット・トラストであるピムコ・ケイマン・トラストのサブ・ファンドであるピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンドB(以下「フィーダー・ファンド」といいます。)のクラスD(BRL) 受益証券またはクラスA(BRL) 受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に投資することにより、最大限のトータル・リターンを追求することにあります。フィーダー・ファンドは、ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)(以下「マスター・ファンド」といいます。)に投資することによりその投資目的の達成を目指します。当期につきましてそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第11期末

サブ・ファンド名	1口当たり純資産価格	純資産総額
米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ	10.04米ドル	11,453,169.96米ドル
豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ	13.76豪ドル	3,679,880.49豪ドル

第11期

サブ・ファンド名	騰落率	1口当たり分配金合計額
米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ	-27.08%	4.00米ドル
豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ	-30.61%	5.52豪ドル

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注2) 1口当たり分配金合計額は、税引前の1口当たり分配金の合計額を記載しています。以下同じです。

《運用経過》

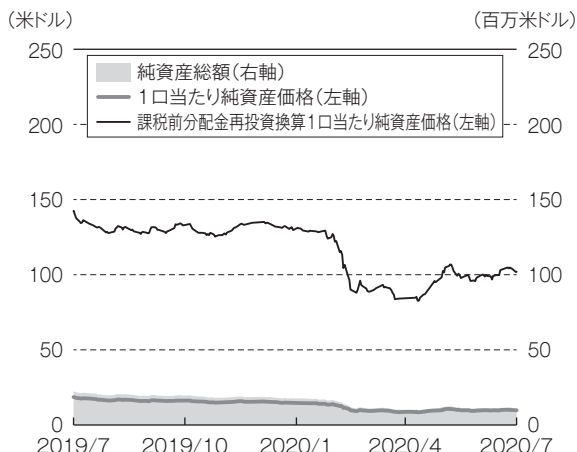
【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】

* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にサブ・ファンドへ再投資したとみなして算出したもので、サブ・ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

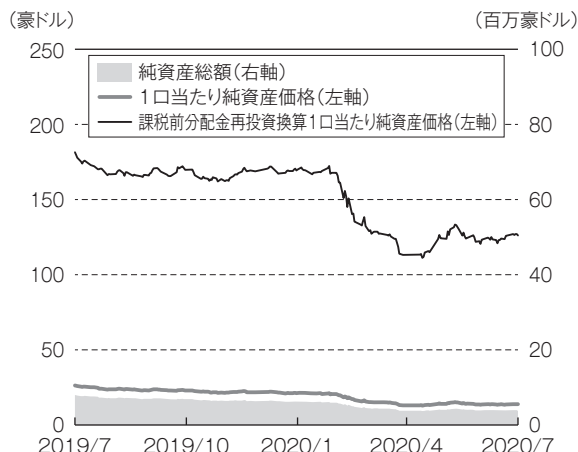
* 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、当初発行価格(米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオは100米ドル、豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオは100豪ドル)を起点として計算しています。

* サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。

米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ



豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ



	第10期末の 1口当たり 純資産価格	第11期末の 1口当たり 純資産価格	第11期中の 1口当たり 分配金合計額	騰落率
米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ	18.67米ドル	10.04米ドル	4.00米ドル	-27.08%
豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ	26.39豪ドル	13.76豪ドル	5.52豪ドル	-30.61%

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

[上昇要因]

- ・ 債券利子収入を獲得したこと
- ・ 米国債金利が低下したこと(債券価格の上昇)
- ・ 米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引によるプレミアムを享受したこと

[下落要因]

- ・ 米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオについては、ブラジルリアルが対米ドルで下落したこと
- ・ 豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオについては、ブラジルリアルが対豪ドルで下落したこと
- ・ エマージング債券のスプレッド(米国債に対する上乗せ金利)が拡大したこと

【費用の明細】

項目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)、 保管報酬および 管理事務代行報酬	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.15% 管理報酬、保管報酬、管理事務代行報酬は、信託証書に定める管理会社、保管会社、管理事務代行会社としての業務の対価として、管理会社、保管会社、管理事務代行会社に支払われます。	
受託報酬	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.01% (各サブ・ファンド毎に10,000米ドルを下回らないものとします。) 受託報酬は、信託証書に定める受託会社としての受託業務の対価として、受託会社に支払われます。	
投資運用報酬 (副投資運用報酬を含みます。)	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.93% (このうちサブ・ファンドの純資産総額の年率0.59%が副投資運用報酬として副投資運用会社に支払われます。) 投資運用報酬は、関連するサブ・ファンドのポートフォリオの投資運用、資産の投資および再投資の管理業務等の対価として、投資運用会社に支払われます。 副投資運用報酬は、投資運用会社に提供する投資運用業務の対価として、副投資運用会社に支払われます。	
販売報酬	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.5% 販売会社報酬は、投資者からの申込または買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として販売会社に支払われます。	
代行協会員報酬	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.05% 代行協会員報酬は、ファンド証券の純資産価格の公表を行い、また、目論見書および運用報告書等を販売会社へ送付する等の業務の対価として代行協会員に支払われます。	
その他の費用(当期)	米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ	0.78% 支払利息、仲介手数料・仲介報酬、斡旋手数料およびその他の類似の費用、ならびに特定の投資対象に関するデューデリジェンス、その他の専門家報酬およびコンサルティング料を含む投資費用、その他の運営費用(仲介手数料、弁護士報酬、監査報酬等)
	豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ	1.86%

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をサブ・ファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

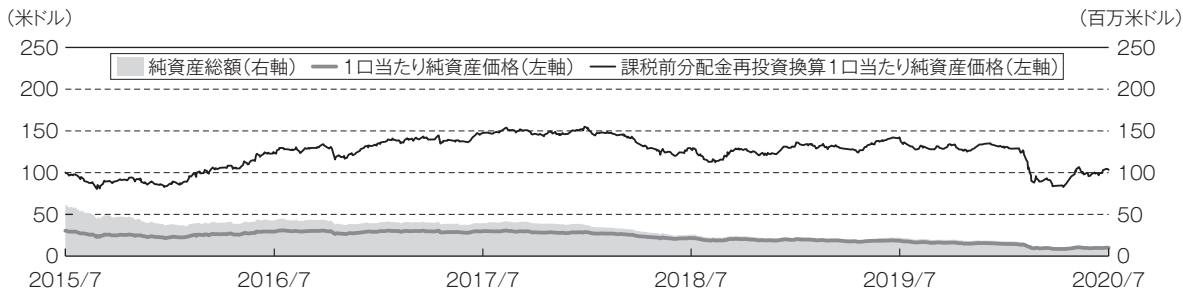
【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】

(注1) 米ドル(ブラジルレアル・ヘッジ)ポートフォリオは2010年1月21日に当初発行価格100米ドルで設定されました。豪ドル(ブラジルレアル・ヘッジ)ポートフォリオは2010年1月21日に当初発行価格100豪ドルで設定されました。

(注2) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、当初発行価格(米ドル(ブラジルレアル・ヘッジ)ポートフォリオは100米ドル、豪ドル(ブラジルレアル・ヘッジ)ポートフォリオは100豪ドル)を起点として計算しています。

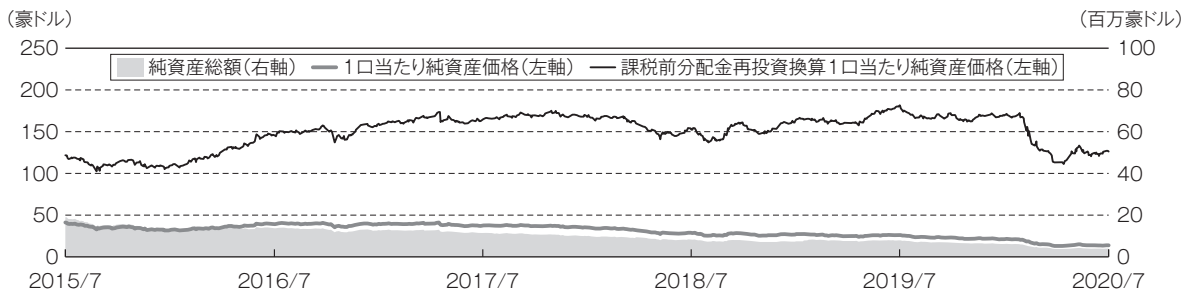
(注3) サブ・ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

米ドル(ブラジルレアル・ヘッジ)ポートフォリオ



	第6期末 (2015年7月末日)	第7期末 (2016年7月末日)	第8期末 (2017年7月末日)	第9期末 (2018年7月末日)	第10期末 (2019年7月末日)	第11期末 (2020年7月末日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	30.19	29.73	29.88	21.57	18.67	10.04
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	15.00	6.00	4.80	4.80	4.80	4.00
騰落率 (%)	-27.24	24.65	18.39	-13.32	11.31	-27.08
純資産総額 (米ドル)	61,338,388.72	43,376,871.61	39,594,979.02	25,447,950.86	22,540,304.04	11,453,169.96

豪ドル(ブラジルレアル・ヘッジ)ポートフォリオ



	第6期末 (2015年7月末日)	第7期末 (2016年7月末日)	第8期末 (2017年7月末日)	第9期末 (2018年7月末日)	第10期末 (2019年7月末日)	第11期末 (2020年7月末日)
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	40.76	39.41	37.37	28.50	26.39	13.76
1口当たり分配金合計額 (豪ドル)	13.45	7.60	6.60	6.60	6.60	5.52
騰落率 (%)	-8.63	20.06	12.38	-7.23	19.15	-30.61
純資産総額 (豪ドル)	18,994,056.19	13,752,168.86	11,477,706.76	8,246,268.18	7,986,846.18	3,679,880.49

【投資環境について】

【債券市況】

- ・ エマージング債券市況の代表的な指数であるJPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド(米ドルベース)は、前期末に比べ2.97%の上昇となりました。
- ・ 期の前半、米中が通商協議で一部合意に達したことなどがプラス要因となり、エマージング債券市況のスプレッド(国債に対する上乘せ金利)は縮小しました。しかし期の後半、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで金融市場が大きく混乱したことからスプレッドが急激に拡大する展開となりました。その後、先進国における大規模な金融緩和や財政出動などが好感され、スプレッドは縮小に転じましたが、期を通じてみるとスプレッドは拡大しました。一方で、FRB(米連邦準備制度理事会)が緊急利下げを実施するなど大規模な金融緩和を実施したことから、米国金利は大幅に低下しました。スプレッドの拡大がマイナス要因となったものの、利子収入を得たことや米国金利が低下したことがプラス要因となり、エマージング債券市況は上昇しました。

【為替市況】

(ブラジルリアル)

- ・ 期中、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした国内経済の低迷や、新型コロナウイルスへの対応を巡ってボルソナロ政権で閣僚が相次いで辞任するなど政治的不透明感の高まりを受けてブラジルリアルは対米ドルで下落しました。

【為替取引によるプレミアム／コスト】

(ブラジルリアル)

- ・ ブラジルリアルの短期金利は米ドルの短期金利に対して高位で推移したため、これら2通貨間の短期金利差は為替取引によるプレミアムとなりました。なお、米ドルの短期金利は低下したものの、ブラジルリアルの短期金利がより大きく低下したことから、米ドルとブラジルリアルの短期金利差は前期末より縮小しました。

【ポートフォリオについて】

〈各ポートフォリオ〉

- ・各ポートフォリオは、各フィードラー・ファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に実質的な投資を行いました。また、一部のポートフォリオでは、各フィードラー・ファンドへの投資を通じて為替取引を行いました。

上記の結果、以下のとおりとなりました。

- 米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、前期末に比べ下落しました。
- 豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、前期末に比べ下落しました。

〈フィードラー・ファンド〉

- ・各フィードラー・ファンドは主としてマスター・ファンドへ投資を行いました。

【為替戦略】

(米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオの投資するフィードラー・ファンド)

米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行った結果、米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオの1口当たり純資産価格はブラジルリアルの米ドルに対する為替相場の影響を受けました。ブラジルリアルは米ドルに対して、前期末に比べ27.72%下落し、1口当たり純資産価格にマイナスに影響しました。

(豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオの投資するフィードラー・ファンド)

米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行った結果、豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオの1口当たり純資産価格はブラジルリアルの豪ドルに対する為替相場の影響を受けました。ブラジルリアルは豪ドルに対して、前期末に比べ30.53%下落し、1口当たり純資産価格にマイナスに影響しました。

【為替取引によるプレミアム/コスト】

- ・米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ、豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオの投資する各フィードラー・ファンドでは、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行いました。ブラジルリアルの短期金利は米ドルの短期金利に対して高位で推移したため、これら2通貨間の短期金利差は為替取引によるプレミアムとなりました。

〈マスター・ファンド〉

- ・ゼレンスキー政権下での構造改革による景気下支え効果が期待されることに加え、IMF(国際通貨基金)からの支援策が続いているウクライナを積極姿勢としました。
- ・一方、中国をはじめとするフィリピン、マレーシアなどのアジア諸国については、利回り面での魅力が乏しいことなどを鑑み、消極姿勢としました。

【分配金について】

当期(2019年8月1日～2020年7月31日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格 ^(注1)	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注2))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注3)
2019年8月20日	16.83	0.40 (2.32%)	-1.45
2019年9月24日	15.97	0.40 (2.44%)	-0.46
2019年10月23日	15.97	0.40 (2.44%)	0.40
2019年11月20日	15.09	0.40 (2.58%)	-0.48
2019年12月20日	15.40	0.40 (2.53%)	0.71
2020年1月21日	14.78	0.40 (2.64%)	-0.22
2020年2月20日	14.04	0.40 (2.77%)	-0.34
2020年3月23日	9.24	0.40 (4.15%)	-4.40
2020年4月20日	9.34	0.20 (2.10%)	0.30
2020年5月26日	9.53	0.20 (2.06%)	0.39
2020年6月24日	9.86	0.20 (1.99%)	0.53
2020年7月20日	9.63	0.20 (2.03%)	-0.03

(注1) 当該分配落日が評価日でない場合には、当該分配落日の直後の評価日における1口当たり純資産価格とします。下記(注2)から(注4)を含め、以下本「分配金について」において同様とします。

(注2) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、サブ・ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額
以下同じです。

(注3) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注4) 2019年8月20日の直前の分配落日(2019年7月22日)における1口当たり純資産価格は、18.68米ドルでした。

豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ

(金額：豪ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2019年8月20日	24.18	0.55 (2.22%)	-1.11
2019年9月24日	22.96	0.55 (2.34%)	-0.67
2019年10月23日	22.78	0.55 (2.36%)	0.37
2019年11月20日	21.59	0.55 (2.48%)	-0.64
2019年12月20日	21.75	0.55 (2.47%)	0.71
2020年1月21日	21.06	0.55 (2.55%)	-0.14
2020年2月20日	20.66	0.55 (2.59%)	0.15
2020年3月23日	15.77	0.55 (3.37%)	-4.34
2020年4月20日	14.37	0.28 (1.91%)	-1.12
2020年5月26日	14.06	0.28 (1.95%)	-0.03
2020年6月24日	14.06	0.28 (1.95%)	0.28
2020年7月20日	13.51	0.28 (2.03%)	-0.27

(注)2019年8月20日の直前の分配落日(2019年7月22日)における1口当たり純資産価格は、25.84豪ドルでした。

《今後の運用方針》

〈各ポートフォリオ〉

各ポートフォリオは、引き続き各フィーダー・ファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に実質的な投資を行います。また、一部のポートフォリオでは、各フィーダー・ファンドへの投資を通じて為替取引を行います。

〈フィーダー・ファンド〉

- ・各フィーダー・ファンドは主としてマスター・ファンドへ投資を行います。
- ・米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ、豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオの投資する各フィーダー・ファンドでは、米ドルに対しブラジルリアルで為替取引を行います。

〈マスター・ファンド〉

運用の基本方針に従って、引き続き米ドル建ての新興国債券を高位に組み入れた運用を行います。PIMCOでは、新型コロナウイルス感染の抑制に向けたロックダウン(都市封鎖)等による影響が、企業活動および労働市場に対し、当初の想定を上回る速度でかつ広範囲にわたり波及していることを受け、世界の経済成長は2008-09年の金融危機時以上に大きく落ち込み、2020年通期でみてもマイナス成長に陥るものと予想しています。2020年2月をピークに急激に悪化した世界の景気動向は、各国の金融・財政政策を受けて足元は回復を続けています。足元では世界各地で新型コロナウイルス感染が拡大しているもののワクチン開発が進展しており、実用化されれば2021年以降は景気回復が一段と進む可能性があります。一方で、米中の対立、ポピュリズムの台頭、情報技術の革新、気候変動などの長期的な要因が世界経済や市場をかく乱するリスクには注意が必要です。欧米を中心に新型コロナウイルスの感染が再拡大するなか、感染ペースが鈍化していたブラジルやロシアなどでも再び感染が拡大に転じているものの、ワクチンの開発は現在各国での使用に向けた承認待ちの段階にあります。全世界への供給体制などには依然として不透明な点も残るものの、ワクチンによって感染が抑制されるとの期待感などから、エマージング諸国の景況感や市場心理は改善傾向にあります。一方、新型コロナウイルスの影響によって落ち込んだ景気を支えるための財政支出により、債務が増加している点は懸念材料の一つです。また、一部の国では政治リスクが露呈するケースもみられるため、国ごとの選別投資が重要となります。ただし、多くのエマージング諸国は先進国と比べ金利水準が高く追加利下げの余地があることや、先進国対比で政府債務比率が低く財政による追加的な景気刺激の余地も残されているという点は、エマージング諸国全体の下支え要因であると考えられます。当面、緩やかな景気の回復が続くなか、各国の財務状況の健全性を重視しつつ、一部割安となった国々への投資も行います。具体的には、ラマポーザ大統領がインフラ投資などを通じて中長期的な成長を目指す姿勢を示したことで期待が高まっている南アフリカを積極姿勢としています。また、米大統領選においてバイデン氏の勝利が確実となり、現在の強硬な対メキシコ政策が転換するとの期待からメキシコを積極姿勢としています。一方、中東諸国やアジア諸国については、利回り面での魅力が乏しいことなどを鑑み、消極姿勢とします。

《お知らせ》

受託会社であるCIBCバンク・アンド・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッドは、2020年11月23日をもって、その商号をファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッドに変更しました。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託	
信託期間	サブ・ファンドは、管理会社が受託会社と協議の上、存続期間の延長を決定しない限り、2024年6月30日に終了します。ただし、請求目論見書に定めるいずれかの方法により当該日までに終了する場合は除きます。償還金の支払いについては、償還日以降、相応の日数がかかることがあります。	
運用方針	サブ・ファンドの投資目的は、ケイマン諸島のユニット・トラストであるピムコ・ケイマン・トラストのサブ・ファンドであるピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンドBのクラスD (BRL) 受益証券またはクラスA (BRL) 受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に投資することにより、最大限のトータル・リターンを追求することにあります。	
主要投資対象	サブ・ファンド	ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンドBのクラスD (BRL) 受益証券またはクラスA (BRL) 受益証券
	フィーダー・ファンド	ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド (M)
	マスター・ファンド	エマージング証券市場を有する国と経済的な結びつきを有する発行体の固定利付金融商品またはかかる証券のデリバティブ
ファンドの運用方法	サブ・ファンドは、フィーダー・ファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に投資します。サブ・ファンドは、フィーダー・ファンドへの投資を通じて、米ドルに対しブラジルレアルで為替取引を行います。	
主な投資制限	<p>サブ・ファンドに適用される投資制限は以下のとおりです。</p> <p>(イ) サブ・ファンドについて空売りされる有価証券の時価総額は、サブ・ファンドの純資産総額を超えないものとします。</p> <p>(ロ) サブ・ファンドの純資産総額の10%を超えて、借入れを行うものではありません。ただし、合併等の特別緊急事態により一時的に、かかる10%を超える場合はこの限りではありません。</p> <p>(ハ) 管理会社の運用する証券投資信託およびミューチュアル・ファンドの全体において、一発行会社の議決権総数の50%を超えて投資を行ってはなりません。かかる制限は、他の投資信託に対する投資には適用されません。</p> <p>(注) 上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。</p> <p>(ニ) サブ・ファンドは、私募株式、非上場株式または不動産等、流動性に欠ける資産に対しその純資産の15%を超えて投資を行いません。ただし、日本証券業協会が定める外国投資信託受益証券の選別基準(随時改訂または修正されることがあります。)(外国証券の取引に関する規則第16条)に要求されるとおり、価格の透明性を確保する方法が取られている場合はこの限りではありません。</p> <p>(注) 上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。</p> <p>(ホ) 投資対象の購入、投資および追加の結果、サブ・ファンドの資産額の50%を超えて、日本の金融商品取引法(昭和23年法律第25号(改正済))第2条第1項に規定される「有価証券」の定義に該当しない資産を構成する場合、かかる投資対象の購入、投資および追加を行いません。</p> <p>(ヘ) 管理会社が自己または第三者の利益を図る目的で行う取引等、受益者の保護に欠け、またはサブ・ファンドの資産の適正な運用を害するサブ・ファンドのための管理会社の取引は、すべて禁止されます。</p> <p>(ト) サブ・ファンドは、日本証券業協会の「外国証券の取引に関する規則」(改訂済)第16条第9号に従い、信用リスクを管理する方法として管理会社が定めた合理的な方法に反する取引を行いません。</p> <p>サブ・ファンドの投資対象の価値の変化、再構成、合併、サブ・ファンドの資産からの支払またはサブ・ファンドの受益証券の買戻しの結果としてサブ・ファンドに適用される制限を超えた場合、管理会社は、直ちにサブ・ファンドの投資対象を売却する必要はありません。しかし、管理会社は、サブ・ファンドの受益者の利益を考慮した上で、違反が判明してから合理的な期間内にサブ・ファンドに適用される制限を遵守するために合理的に可能な措置を講じるものとします。</p>	
配分方針	管理会社は、その裁量により、毎月20日(当該日が営業日でない場合は翌営業日)に、純投資収入、純実現・未実現キャピタルゲインおよび配当可能資本から分配を宣言することができます。分配は、分配宣言(同日を含みます。)から5営業日以内に受益者(日本においては、日本における販売会社)に対して行われます。	

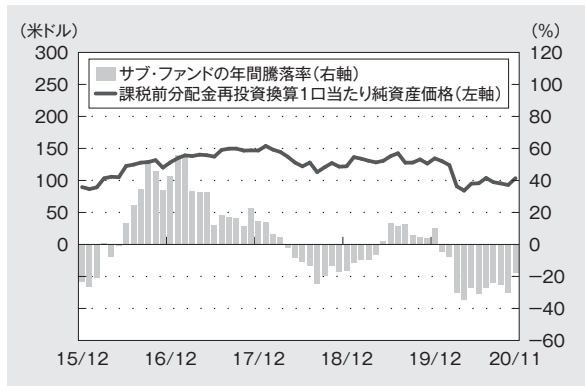
《参考情報》

【サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

サブ・ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格・年間騰落率の推移

2015年12月～2020年11月の5年間に於けるサブ・ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格(各月末時点)と、年間騰落率(各月末時点)の推移を示したものです。

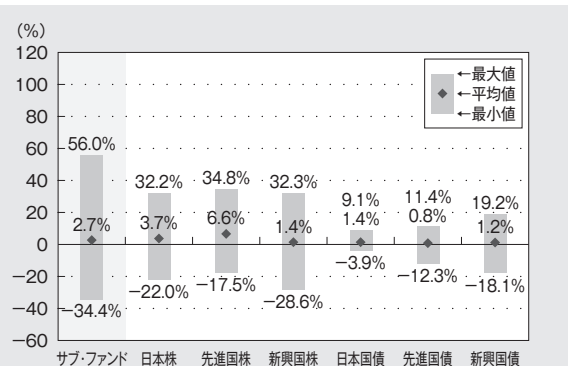
米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ



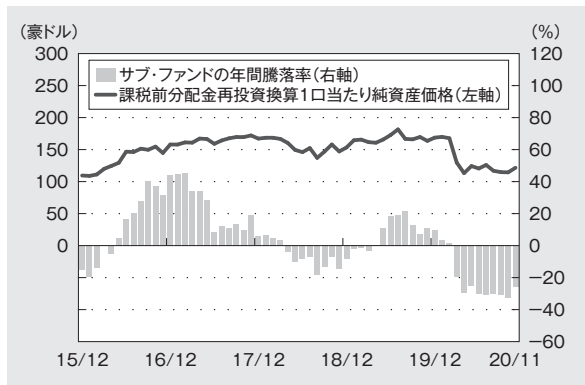
サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

このグラフは、サブ・ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、左のグラフと同じ期間における年間騰落率(各月末時点)の平均と振れ幅を、サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。

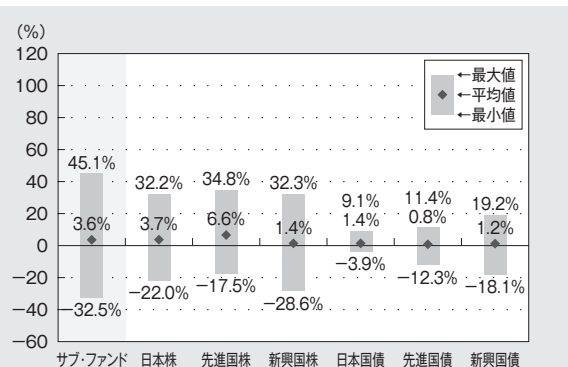
米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ



豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ



豪ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ



出所: Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所が作成

※課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にサブ・ファンドへ再投資したとみなして算出したものです。

※サブ・ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。

※代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。

※サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。

※サブ・ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格および年間騰落率は、実際の1口当たり純資産価格およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※サブ・ファンドの年間騰落率は、各受益証券の参照通貨建てで計算されており、円貨に換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

※サブ・ファンドは代表的な資産クラスのすべてに投資するものではありません。

●各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込み)

先進国株・・・FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)

新興国株・・・S&P新興国総合指数

日本国債・・・BBGバークレイズE1年超日本国債指数

先進国債・・・FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債指数(円ベース)

(注)S&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(㈱東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、サブ・ファンドは、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、サブ・ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)およびFTSE新興国市場国債指数(円ベース)に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plcまたはそのいずれかのグループ企業に帰属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLCまたはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。

《サブ・ファンドデータ》

【サブ・ファンドの組入資産の内容】

(第11期末現在)

米ドル(ブラジルリアル・ヘッジ)ポートフォリオ

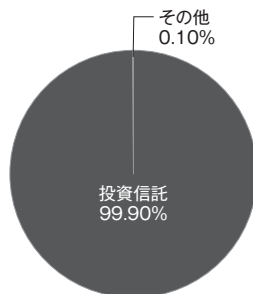
●組入上位資産

(組入銘柄数: 1銘柄)

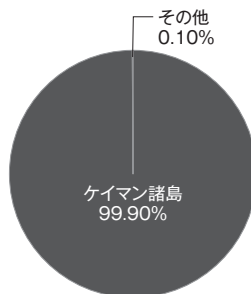
銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンドB クラスD (BRL)	99.90

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

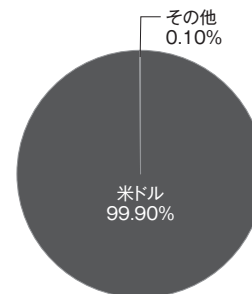
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1)上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項目	第11期末
純資産総額	11,453,169.96米ドル
発行済口数	1,140,219口
1口当たり純資産価格	10.04米ドル

第11期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
50,334 (50,334)	117,150 (117,150)	1,140,219 (1,140,219)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【サブ・ファンドの投資するフィーダー・ファンドの概要】

●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)	91.64
米国短期国債 0% 8/6/2020 - 10/22/2020	9.47

【サブ・ファンドの組入資産の内容】

(第11期末現在)

豪ドル(ブラジルレアル・ヘッジ)ポートフォリオ

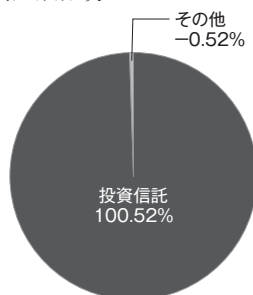
●組入上位資産

(組入銘柄数:1銘柄)

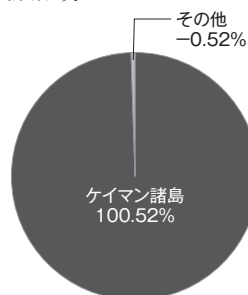
銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンドB クラスA(BRL)	100.52

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

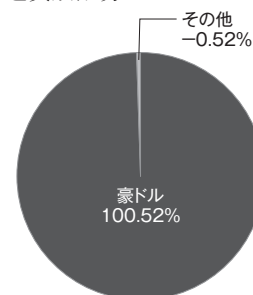
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1)上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項目	第11期末
純資産総額	3,679,880.49豪ドル
発行済口数	267,433口
1口当たり純資産価格	13.76豪ドル

第11期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
4,402 (4,402)	39,637 (39,637)	267,433 (267,433)

(注)()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【サブ・ファンドの投資するフィーダー・ファンドの概要】

●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)	92.20
米国短期国債 0% 8/6/2020 - 10/22/2020	9.53

[ご参考]ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)

以下は、ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)の直近の計算期間(2019年3月1日～2020年2月29日)および当該計算期間末日現在の情報です。

●純資産価格の推移



●1万口当たりの費用明細

(2019年3月1日～2020年2月29日)
1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

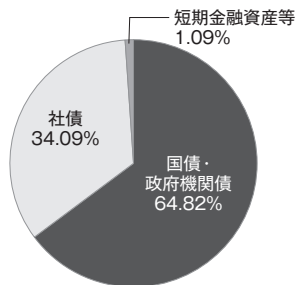
●組入上位10銘柄

(組入銘柄数：261銘柄)

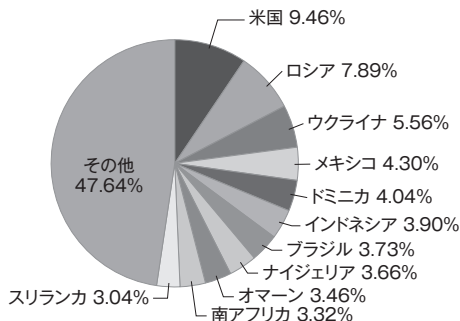
(2020年2月29日現在)

順位	銘柄名	クーポン	償還日	格付	組入比率	国名
1	PETROBRAS GLOBAL FINANCE SR UNSEC REGS	5.09%	2030/1/15	BB	2.31%	ブラジル
2	UKRAINE GOVT	7.75%	2021/9/1	B	1.91%	ウクライナ
3	DOMINICAN REPUBLIC REGS	5.95%	2027/1/25	BB-	1.86%	ドミニカ
4	RUSSIA FOREIGN BOND SR UNSEC REGS	5.10%	2035/3/28	BBB	1.65%	ロシア
5	REPUBLIC OF NIGERIA	6.38%	2023/7/12	B	1.56%	ナイジェリア
6	REPUBLIC OF SRI LANKA	6.25%	2020/10/4	B	1.52%	スリランカ
7	GAZPROM (GPN CAPITAL) SR UNSEC REGS	4.38%	2022/9/19	BBB	1.51%	ロシア
8	ECOPETROL SA SR UNSEC	5.88%	2045/5/28	BBB-	1.41%	コロンビア
9	SAUDI INTERNATIONAL BOND	4.38%	2029/4/16	A+	1.38%	サウジアラビア
10	SRI LANKA GOVT BOND SR UNSEC REGS(1MMM)	6.25%	2021/7/27	B	1.34%	スリランカ

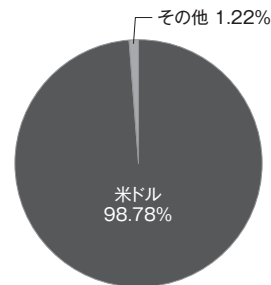
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 比率はマスター・ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が3%未満の項目は「その他」に分類しています。
(注2) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。